

特集

輝くOB・OG 第7弾

卒業生は約72,415名、これまでに三重大学という学舎で育った卒業生は約72,415名、社会の様々な分野で活躍中です。

取材中、取材の協力ありがとうございました。おかげさまでこの特集が実現しました。

日本の「カッコいい」よ、世界へ届け!

File. 28



迷ったらやる!学生時代

学生時代は個人で活動し、地域のイベント企画、運営、司会進行、調査活動に取り組んでいました。活動をすればするほど様々な人と出会い、自分の世界がどんどん広がっていくように感じました。「めんどくさい」と思わず積極的に行動して、たくさんの人とのつながりができたことが、学生時代の一番の財産だと感じています。

人文学部では社会学を専攻し、地域の活性化について研究していました。調査の一環で地元の人々や文化と触れ合い、「地元の良さを活用して面白いことがしたい」と思い、地元の役場へ入庁を決めました。

現在は経済産業省で「クールジャパン\*政策」を担当しています。日本の伝統工芸や文化・食品を海外へ紹介したり、優れた技術を持つ中小企業の海外市場開拓のお手伝いをしています。海外に通用する日本のよいものを広め、手にとっていただくと、日本を好きになってもらう。そして日本商材の消費拡大や訪日者数の増加へつなげることが目標です。気をつけていることは、日本側が「いいでしょ?」と思うものと、海外側が「いいね!」と思うものは、必ずしも一致しないということです。いくら良いものでも、それが向こうの人々や文化に受け入れられるとは限りません。視野を広く持ち、世界の中での日本の立ち位置や、相手国の文化を理解して発信することを、常に意識しています。

地方から全国、そして世界

出合いを大切に! 仕事をやる際には、与えられた仕事を淡々とこなすのではなく、まずは自分のものとして受け止め、自分なりに考えた結果を発信することで、自分が楽しんで仕事ができるように意識しています。指示通りに仕事をすることは誰にでもできますし、何より、言われた仕事をそのままやっても、つまらないですよ。今の仕事は前向きで夢のあるものだと感じていて、とてもやりがいがあります。

学生時代に培った人脈は、社会に出た後も思わぬところで生きてきます。仕事で初めてお会いした方が、学生時代の私をご存知だったこともあります(笑)。違う場所で違う仕事をしていても、人ってどこかでつながっていくものだと実感しました。皆さんもどんどん外に出て、色々なことにチャレンジしてください!

経済産業省 商務情報政策局 生活文化創造産業課 (クリエイティブ産業課)

西村 紗矢香 Nishimura, Sayaka

京都府生まれ。2010年人文学部文化学科を卒業。民間企業を経て2012年京丹波町役場入庁。2015年より経済産業省へ出向し現職。



経済産業省にて (東京都千代田区霞ヶ関)

「クールジャパン」とは、海外にも通用する日本の技術やサービス、伝統的な文化や工芸品のことだよ! (クール:カッコいい)

趣味は音楽を聴くことで、大学生頃は軽音楽部でボーカルを担当していたんだって!

~学生へのメッセージ~

外に飛び出すべし! 自分にできることをどんどんして吸収して、世界を広げよう!

表現の可能性は無限大! 自由な工作で思いを表す

File. 29

三重大学教育学部附属小学校 教諭(図画工作)

猪 泰介 Ii, Taisuke

大分県竹田市生まれ。2002年三重大学教育学部卒業、三重県内の小学校教諭を経て、2014年より現職。



三重大学教育学部附属小学校第1図工室にて (三重県津市)

自由な材料から自由な作品をつくる工作が猪先生の目指す授業なんだ!



美術に囲まれた生活

大学では美術教育を学び、美術部にも所属していました。油絵の制作に励み、グループ展に出品したり大学祭のポスターに私のデザインが選ばれたり、美術にどっぷり浸った学生時代でした。大学で学んだことや私自身が実感した「つくることの楽しさ」を子どもたちに伝えたいと思いはじめ、教諭を目指しました。教育実習では指導案を何度も書き直し、授業内容や子どもへかける言葉の一語一句まで細かく指導が入りました。厳しいと思うこともありましたが、その経験が今でも役に立っていると実感しています。ですから、実習生にはめげずに頑張ってくださいね。

思いを表現すること

子どもたちには先生に言われたことをするのではなく、「自分がこうしたい」という思いをいかに楽しく表現するかを教えています。完成した作品を見ただけでは、作った子の思いがわかりにくいときもあるので、作品に込めた思いを言葉で表現することも必要です。しかし、まだ言葉の引き出しの少ない子どもが無理に言葉で表現すると、本来表現したいものとは違うものになってしまうことがあり、難しいところです。そこで、私は作品が出来上がるまでの経緯を重視し、子どもたちに、制作途中の作品と完成した作品の違いや作品のそれぞれの部分に込めた思いを説明してもらうなど、できるだけ思いを表現しやすい授業を心がけています。

表現力を高める

図工の最終目的の一つは、美しいものを心から美しいと感じる感性を育てることだと思います。子どもの頃に培った表現力は感性を豊かにします。子どもがもつ発想力を活かすために、制作手順を細かく指定せず、木材と釘、大量の色画用紙で自由に好きなものをつくる授業などもしています。限られた材料のなかからでも本当にたくさんの作品が出来上がります。どんな材料からでも作品を制作できる力は、表現したい思いをより具体的に、より良く表す力につながります。身近にあるどんなものでも、表現の可能性は無限大です。それを子どもたちに気づいて欲しいと思っています。

~学生へのメッセージ~

今のうちに色々吸収して、やりたいことにもっとどっぷり浸ってください! 辛い時間もいずれ役に立ったと思う日が来ます。

# ★守っていく、つないでいく 東紀州の生命線

File. 30



## 怒られ学んだ学生時代

僕のいた病理学教室では、病院で亡くなられた患者さんを病理解剖して所見をレポートにして提出するんですが、当時の教授の武田進先生からは厳しくも熱心な指導を受けました。100人分のレポート

にすべて手書きでコメントを書かれるんです。赤字でいっぱい直されるんですが、「お前なんか二度と来るな」と書かれたこともあります。それでもめげずに行くとなんと教えてくれる。今は自分が指導する立場にありますが、同じように教育にエネルギーを注ぐのはなかなか難しいと感じています。

## 「ありがとう」の重み

昭和63年に卒業して、三重大病院の第1外科に入局しました。先輩医師が受け持っていた食道がんの患者さんが、痰を詰まらせて息が止まり、人工呼吸器をずっとつけていました。容態が回復して、やっと抜くという時に僕もちょうど立ち合ったんですが、患者さんの第一声が「先生、ありがとう」。その言葉から、先輩医師がつきっきりで診ていて、患者さんもそれを分かっていたんだという気がしたんです。その頃、僕は働きはじめたばかりで、何がなんだか分からなくてという状況だったけど、その場面はとても鮮明に覚えています。

## この地域に必要な医療を

東紀州<sup>\*1</sup>は老老介護や独居老人が多い。つぶさに様子を見てあげる人が周りにいないので、具合が悪いなどと思ったら、救急外来にかかります。たとえ診察して何もなかったとしても、「心配ないよ、良かったね」と患者さんには言ってあげたい。ただ、職員も医師も疲れてしまわないように、三重大病院や地元病院などと上手に連携していくのが、この地域に根ざした医療だと思っています。今、国は団塊世代が後期高齢者に突入する2025年に向けて、医療整備の改革を検討しています。人口の流出が激しい東紀州は、病院の規模を小さくして回復期<sup>\*2</sup>の医療に集中し、急性期<sup>\*3</sup>の医療は松阪や伊勢に任せる案も出ています。でも、緊急時に90歳のおじいちゃんが85歳のおばあちゃんを車に乗せて80キロ離れた伊勢まで行けますか?せめて10年先は今の東紀州の医療の質を守っていく構想を模索しています。

\*1……三重県南部に位置し、紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町からなるエリア。  
\*2・3…比較的症状が安定して回復に向かう段階(回復期)、緊急度が高く、様々な症状が現れる段階(急性期)。

尾鷲市立尾鷲総合病院 院長

**加藤 弘幸**  
Kato, Hiroyuki

愛知県名古屋市生まれ。1988年医学部を卒業し、三重大学医学部附属病院、桑名市山本病院(現 桑名東医療センター)、済生会松阪総合病院、紀南病院等を経て、2004年1月から市立尾鷲総合病院へ赴任、2011年4月から院長。



尾鷲港にて(三重県尾鷲市)

自然いっぱいの尾鷲を愛車でドライブするのが好きなんだって

～学生へのメッセージ～  
よく学び、よく遊べ。学びだけでもいいかんし、遊びだけでもいいかん。学生のうちに、色々な社会勉強をしてみてもいいかな。

# ★ITS<sup>\*</sup>開発の第一線 コードを奏でるエンジニア

File. 31

※ITS(=Intelligent Transport Systems/高度道路交通システム…人、車両、道路を情報通信技術で結び、交通問題を解消するシステム)

## ITSの世界へ

学生時代はクラブ活動に一生懸命で、管弦楽団に所属していました。そのとき弾いていたチェロは今も続いています。もちろん勉強も疎かにはせず、研究室では車車間通信<sup>※</sup>をテーマに研究していました。そこで多くのITS研究に触れて、この業界で働きたいと感じるようになったのが入社のおかげです。入社時も大学での経験が土台となって、スムーズに仕事に馴染めたように感じています。入社後からは10年ほど、カーナビのソフトウェア開発を行っていましたが、その中にはみなさん良くご存知の高級車に採用されているものも少なくありません。

※自動車間で無線通信を行い、互いに位置や速度情報等を交換し、運転支援を行うもの。

## 過去にないものを、今あるものへ

そういった最上位モデルに採用されるものには、過去にない新しいコンセプトを求められることが多くあります。例えば、以前にカーナビを2画面で操作したいという依頼がありました。ただ画面を分割して表示するのではなく、別々の機能を持った2つの画面装置を使い、片側での操作結果を両画面に反映させるといったものでした。異なる役割の画面装置2つを並行して制御する難しさに加え、他の仕様条件やハード面での制約をいかにクリアするか、とても悩みました。でもなんとか開発に成功し、メーカーさんから「よくここまでカタチにしたね」とお褒めの言葉をいただいたときにはとても充足感を感じましたね。

## 責任があるから楽しみがある

現在はカーナビ開発から離れ、プロジェクトマネージャーとして、運転席に搭載されるメータのソフトウェアを開発するプロジェクトに携わっています。メータの開発はカーナビの開発とは異なる難しさがあります。僅かな狂いが事故に直結しかねないため、安全性の観点からソフトウェアの動作には高い精度が求められます。このプロジェクトは、日々多様化する要求へソフトウェアを対応させるという全社的にも非常に重要なものであり、そんな責任ある仕事を任せてもらっていることにとってもやりがいを感じています。もちろん、仕事は大変ですし、プレッシャーも感じますし、辛いこともあります。でも、それを解消するにはやっぱり仕事を成功させるのが一番だと思っているので、そういう時こそ一生懸命やって、全力でやり遂げて、スッキリするようにしています。今の会社ですか?ええ、すごく楽しいですね。

株式会社デンソークリエイティブ  
プロジェクトセンター キャップ

**北村 長**  
Kitamura, Takeru

三重県四日市市生まれ。2004年、大学院工学研究科電気電子工学博士前期課程修了。卒業後、株式会社デンソークリエイティブに入社し自動車のソフトウェア開発に従事。

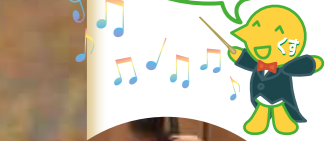


白川公園にて(愛知県名古屋市)

## ～学生へのメッセージ～

物事には全力で取り組みよう。全力だから想いが乗り、想いが乗るからいいものができる。私のものづくりの秘訣です。

三重大学 管弦楽団のOBとして 定期演奏会に出演しているよ



同社が開発に携ったメータの一例

# ★古きを守り、時代に沿った新しい農林水産業を求める

File. 32



## 山国からシーサイドキャンパスへ・・・ 青春は磯の香り

三重大学に入学するまでは岐阜県の山の中で過ごしていました。ですので、初めて三重県に来た時、志登茂川に架かった木造の江戸橋や企業の大きな工場に驚きました。そして海の近さゆえの独特の磯の香りがとても印象に残っています。学生時代は池田勝彦教授と谷山哲郎助教授(当時)の元で大豆の研究をしていました。実験には厳しい先生方でしたが、時には、研究室で栽培したサツマイモを焼いたり、米を炊いたりして、私達学生と一緒に食べて食べることもありました(笑)。古きよき時代ですね。

部活は(研究室の先輩に騙されて入部した)空手部に所属していました。部活と研究に追われて大変でしたが、自身の専門性を活かそうと思い、三重県職員(農業技師)としてなんとか就職することができました。

## 経 験と感謝の日々、自分たちの使命とは?

技師として入庁後は、農業の振興のため地域の普及所において、農家の皆さんにいわゆる「青空教室」を行うなど、農業技術の普及に努めました。その後は、環境森林部、熊野県民センターや三重テラス等での勤務を経て、現在の役職に就きました。今まで、色んな職場で沢山の人の助けられてきました。出会いを大切にしてください。

農林水産部は、農業、林業、水産業を所掌する部署で、それぞれの特徴も、施策も異なることに着任当初は戸惑いました。農業は基本一年単位で収穫を目指しますが、林業は成果を得るまでに80~100年を必要とします。水産業は天候によって漁獲量が左右されるなどの特徴があります。魚を捕る他に養殖や貝類・海草の採取も重要です。こうした農・林・水産、それぞれの特徴を理解したうえで、それぞれに合わせた施策を行う必要があると考えています。また、アプローチの方法や考え方は違って、「生産者の所得を増やし、安全・安心なものを安定して供給する」ことが我々の使命であり、このことを農林水産業振興の共通目的として再認識できました。そして部下には、「現場力を高めよ、現場の肌感覚を磨け」と言って、常にプロとしての意識を持つよう伝えています。

## 不 易 流 行

農林水産業は何千年も前から大切に受け継がれてきた重要な産業です。本質的な部分は絶対に変えてはいけなく、守るべき伝統です。一方で、どんどんチャレンジして、変えていかないといけない部分もあります。実際、県内には従来の手法にとられない、アイデアを持った若い人材が、新しい農業にチャレンジしています。

そんな若い芽を守り、伸ばす環境を整備することが、これから必要なのかなと思います。

担い手の不足や農林水産物価格の低迷など、日本の農林水産業は厳しい状況にあります。しかしどんな状況でも、必ず私たちができることはあります。自分で限界を作ってしまったら、そこで終わりですからね。

吉仲  
繁樹

Yoshinaka, Shigeki

岐阜県生まれ。1980年農学部農学科を卒業し、三重県庁に入庁、農林水産部、環境森林部室長、農水商工部科学技術政策監、熊野県民センター所長等を経て2015年4月から現職。



趣味は、夏はアコ釣り、冬はスキーに出かけます。スキーバジテスト1級です。

健康維持のために山登りにも出かけます。

とにかくやってみよう。やらずに後悔するより、やって後悔するほうがずっといい。学生諸君、「やらない理由」を探している時間は無いぞ!



三重県庁舎前にて(三重県津市)

～学生へのメッセージ～

# ★キーワードは「ワクドキ連発カンパニー」

File. 33



## 関 東 へ の 挑 戦

米菓の市場自体は、ここ数年、微増か横ばい状態で、国内市場も飽和していると言われていますが、マスヤでは「これからの主戦場は関東」というスローガンを持っています。「おにぎりせんべい」を主力商品に持つマスヤは、西日本では知名度がありますが、東日本ではまだまだ知られていません。西日本の方向けの甘辛い味付けのせんべいではなく、東には東に合う味付けの新しい商品を開発しています。また、マスコットのおにぎり坊やを活用したプロモーション活動も積極的に行っています。まずは子供たちにマスヤの製品を好きになってもらい、その子供たちが10年後、20年後も食べてくれて、その美味しさをより大勢の方々に知っていただけるようになることが理想ですね。

## 人 材 育 成 の 3 つ の 秘 密

マスヤは国内だけでもグループ企業が5つあるので、単独企業と比べてとき、一人の社長が注げる力が5分の1にならないよう、各社毎の自主自立経営を目指し、それを支える経営幹部の育成に力を入れています。具体的には、年齢階層を3つに分けてそれぞれの役割を意識してもらいような人材育成を実践しています。Under35(35歳以下)は、一人前になってもらうための修行期間。開発・営業・生産など様々な部門を経験してもらい、総合的な力を養います。Under50(50歳以下)は身に付けた総合力を生かしてバリバリとやってもらう。Over50(50歳超)は、経営幹部としてグループの運営と、後進の指導に力を入れてもらっています。

## 博 士 号 を 持 つ 社 長

地域イノベーション学研究科ができた当時、大学から県の商工会議所青年部連合会に入学生募集の声がかかり、気づいたら連合会の会長をしていた私が、1期生として入学することになっていました(笑)。大学院という研究の世界にとまどいながらも、人文学部の先生方にも指導を受けて、「ファミリービジネスの永続性」をテーマに博士論文を提出し、2015年3月に学位を取得しました。マスヤグループで実践していた理念経営をベースに執筆したので、調査期間は7年ほどになります。地域イノベーション学研究科の院生として身を置く中で、地元企業には、本業を通じて地域に具体的な貢献をしていく使命があるのだと腹に落ちました。マスヤは地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)の参画企業でもあります。大学と企業、それぞれの立場を理解しながらうまく産学連携を進めていければと思っています。

## 株式会社マスヤグループ本社 代表取締役社長

## 浜田 吉司

三重県伊勢市生まれ。1986年慶應義塾大学経済学部卒業。野村證券投資信託委託(株)(現:野村アセットマネジメント(株))勤務などを経て、1994年に(株)マスヤ社長就任。2001年から現職。2015年三重大学大学院地域イノベーション学研究科(博士後期課程)地域イノベーション学専攻修了。



マスコットのおにぎり坊やと

## ～学生へのメッセージ～

現実の社会を知ってはじめて本当の自分が分かります。社会に出るための準備や研鑽の時間を大切にしてください。

マスヤグループ本社にて(三重県伊勢市)